

保護者様



夏休み号

令和元年7月19日
中央区立阪本小学校
校長 小川 優
「スマイル」担任

梅雨明けが待たれる毎日ですが、いかがお過ごしでしょうか？

待ちに待った夏休みが始まります。長期の休みになると、自由に過ごせる時間が増えます。規則正しい生活を送り、楽しく意義のある43日間を過ごせるように時間の使い方をお話し合ってください。学校がある日と同じように、規則正しい日常とメリハリのある生活を送るようにしてください。また、長期の休みは運動不足になりがちです。適度な運動を行い体が疲れることで、よい睡眠につながり夜更かしなどをしない規則正しい生活を送ることができます。

日頃はなかなか時間がなくて取り組めないことにチャレンジできるのも夏休みのよさです。健康や安全に気をつけ、充実した夏休みを過ごしてください。新学期、元気な子どもたちに会えるのを楽しみにしています。

◎夏休みのスケジュール表の作成のすすめ

夏休みの間はあらかじめカレンダーなどにスケジュールを書き込み、見えるところに貼っておくようにすると、子どもたちは見通しがもてます。書き込む内容は、「夏休みの開始日と終了日」「外出する日」「泊まりがけの旅行」などです。また、それらに伴い、いつごろまでに何の宿題をするのか、お子さんと一緒に計画を立てカレンダーに書き込んでみてはいかがでしょうか。

◇2学期の指導開始日お知らせ



9月9日(月)から

◇7月17日(水)保護者研修会がありました。

始めに自己紹介、「いいね」スピーチや「ソーシャルスキルすごろく」を行いリラックスした後、質疑応答を行いました。中央区教育委員会スクールソーシャルワーカーの飯島恵理子先生にお越しいただき、保護者の方が子育てで悩んでおられることや相談したいことに対しお答えいただきました。また保護者の方同士の意見の交流もさかんに行われました。

Q: 「(前日に) 学校に行きたくないと言われたらどう答えるべきか。」

A:楽しい話題(週末のイベントなど)にすり替えて、「〇〇が楽しみだね、だから頑張ろう」と気持ちを切り替えてあげるようにする。

A:得意なこと、好きなことに注目させ、学校に関連させて意欲喚起を図るようにする。

例:メダカが好きなお子さんに→「学校のめだかは元気かな?明日、見てきて。」など

Q: 「中学校へ進学するにあたっての不安がある。私学と公立学校のどちらが本人にあっているか。

公立中学校で現在のような支援を受けられるのか。発達障害の児童に特化した学校を選んだ方がよいか。」

A:中央区の4校の中学校に特別支援教室がある。就学相談を受けて、専門家の意見も取り入れながら適切な進学先を決めていく。将来の見通しをもってお子さんに合った進学先を考えていく。相談機関として、区の就学相談(中学の進学について6年生になってからある)や教育相談(随時利用可)を利用することができる。

Q: 「怒った時のクールダウンの仕方について」

A: その場を離れ別室に行き環境を変え、気持ちを切り替えやすくしてあげる。

(保護者の方から) : 一人で別室に行き気持ちを切り替えて戻ってこられるようになった。



中央区立教育センター内

スクールソーシャルワーカー

飯島恵理子先生

ご家庭での困り事、悩み事の相談に乗ってくださいます。お一人でお悩みを抱え込まないで相談機関を是非利用してください。